
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第48号(通巻第115号)

2006年4月26日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

教育実践総合センター長就任にあたって

家政教育講座 教授 勢田 二郎

本年4月より附属教育実践総合センター長に就任しました。前センター長同様よろしくお願い申し上げます。教育実践総合センターは、前身である教育実践研究指導センター以来の歴代のセンター長をはじめセンター関係者が築いてこられたよき伝統を引き継ぎながら、学部と附属学校園とが一体になって学校教育に関わる実践的な諸問題を、県下の教育関係機関と連携しつつ、総合的に研究する役割を持った附属施設として運営されてきました。学校教育に関わる諸問題を総合的に研究していくことを通して、地域の学校教育のニーズに応え、教育実践力のある教員の養成に資することにあると考えております。

これらの役割を達成するために、本センターには、教育実践・情報教育・教育臨床の各部門が置かれており、本年からは常設の教育相談室も開設されます。これらの部門は、本センターの専任教員に加えて、教育実践の経験豊かな客員教授を加えて構成されますが、本センターの使命を具体化するためには、学部教官並びに附属学校園の教官の皆様はもちろんのこと、山梨県下の教育関係機関の方々の本センターの活動に対するさらなるご理解とご協力が不可欠と考えております。多くの教育問題の中、皆様のご協力・ご指導をいただき、役割達成のため微力ですが誠心誠意努めてまいりますのでよろしくご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

教育実践総合センターのスタッフに加わりました。

義務教育担当客員教授 永田 徹

この度教育実践総合センター義務教育担当客員教授として採用されました永田徹です。私は、夢をもつ児童生徒の育成をめざし、学校現場・行政と勤めてまいりました。この経験を生かし、教育実践総合センターの諸事業発展のために精一杯努力してまいりたいと考えております。今、社会にはさまざまな問題が起きており、それが社会の縮図といわれる子どもの世界にも生じています。こんな時にこそ教育はもっとも大切なものであり、その担い手の教師には高い指導力が求められています。社会の変化に対応でき、信念をもって教育に取り組むような教師を育てるため、ご担当教授の方々と共に全力で取り組んでいきたいと考えております。また、教育実践総合センターが、企画する事業にも積極的にに関わり、悩みを持った、学生や現場の教師をサポートする一助となるべく微力ながら力を尽くしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

期間採用者等研修、若手教員研修、特別支援教育基礎研修の予定

今年度の「期間採用者等研修」ならびに「若手教員研修」「特別支援教育基礎研修」の開催を下記のように予定しております。卒業生で該当する方がおられましたら、お伝え下さるようお願いいたします。内容は教科指導、学級経営、特別支援教育等に関する基礎的研修です。なお、Web上 (<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>) からの申し込みも受け付けます。6月の研修は5月10日より申し込みを開始する予定です。

「期間採用者等研修」：第1回 6月3日(土)、第2回 8月4日(金)、第3回 12月2日(土)

「若手教員研修」「特別支援教育基礎研修」：8月17日(木)

社会参加実習への学生の登録について

社会参加実習(教育ボランティア)希望者の登録を教育実践総合センター事務室にて受け付けています。締め切りは5月2日(火)ですが、現在、登録した学生の人数が学校現場からの希望に十分応えられない状況にあります。説明会に来られなかった学生にも適宜ガイダンスをしていますので、積極的に参加するよう、各講座から学生に呼びかけをお願いいたします。詳細はセンター事務室(J号館4階)まで。

第1回教育臨床研究会のお知らせ

今年度第1回目の教育臨床研究会「特別な教育的ニーズへの支援を考えるー学校・担任・保護者の連携」を5月17日(水)(10:30~12:30)J号館5階多目的教室にて行います。今年度は土肥満先生(山梨県教育委員会高校教育課特別支援教育担当指導主事)、本学研究生の佐田弘和先生(山梨県立盲学校教諭)、松野安美先生(若草中学校教諭)に加わっていただき、様々な角度から特別な教育的ニーズへの支援を検討したいと思います。申し込みは不要ですので、関心のある方はどうぞ直接お出かけください。

第1回「教育相談室連絡協議会」のご報告

前回お知らせしました「教育相談室」(総合研究棟304室)を整備し、円滑に運営するために「教育相談連絡協議会」を定期的に開くことになりました。今年度の協議会構成員は教育実践総合センター教員(1名)、学部教員(2名)、附属養護学校相談支援室担当教員(1名)の4名です。学部からは附属校の教育相談の担当をお願いしている玉井邦夫先生(障害児教育講座)、酒井厚先生(学校教育講座)、附属養護学校からは青木洋子先生に加わっていただきました。第1回は4月18日(火)に行い、「教育相談室」の整備内容、具体的運用方法やリーフレット作成について協議しました。次回は5月23日(火)を予定しています。「教育相談室」に関するご意見、ご希望等ありましたら、教育実践総合センターまでお寄せください。

教師のための教育相談に関するお知らせ

相談スタッフを募集します。新しく着任された先生や未登録の先生方はこの機会に是非ご協力くださるよう、お願いいたします。新規登録用紙は、庶務入り口左手の共通レターケースの相談専用ボックスにあります。ご継続の先生方は再登録の手続きは不要ですが、相談日時等変更点がございましたら、5月31日(水)までにご連絡ください。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。

「教育相談室」(総合研究棟304室)をどうぞご利用ください。使用する場合には、教育実践総合センター事務室(J号館4F)で鍵を借りてください。なお、火・木・金曜日は教育実践総合センター及び附属養護学校相談支援室が優先的に使いますので、よろしくお願いいたします。

相談窓口用メールアドレスが変わりました。新アドレスは kaze@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp です。県内の学校には、後日新しい相談リーフレットを配布し、お知らせする予定です。

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るすることができます。